

「いわて復興応援フェア」が開催されました。

2016年12月8日

平成28年12月8日(木)、自民党本部玄関前にて「いわて復興応援フェア」
として、岩手の食材、食品の販売が行われ、たくさんの方で賑わいました。

このフェアは、岩手県、農業協同組合連合会、漁業協同組合連合会、森林組
合連合会、商工会議所連合会、商工会連合会、菓子工業組合、岩手県産(株)
の主催、自由民主党が運営協力して実施されたものです。

自民党からは二階俊博幹事長、下村博文幹事長代行、林幹雄幹事長代理、望
月義夫幹事長代理ら幹部の先生方に開会式に出ていただきました。今村復興大
臣も駆けつけました。

岩手県からは、達増知事をはじめ幹部職員、藤尾岩手県農協中央会会長ら農
林水産関係者、商工関係者、菓子工業会の方々などにきていただきました。

自民党岩手県連は、鈴木会長をはじめ県選出の国会議員、千葉伝県議会議員
をはじめとした県議団が出席しました。

米(銀河のしずく)、リンゴ、わかめ、干し椎茸、お酒、岩手の銘菓、缶詰、
紫波牛などが販売されましたが、盛況のうちにほぼ完売しました。

盛岡のさんさ踊りが、会場を盛り上げ、ゆるキャラも一役担っていました。

地域の特産物を自民党本部前で直接販売し、地方を応援しよう、と発想した
のは二階幹事長でした。ことし9月、二階幹事長が沖縄を訪問し、翁長雄志知
事と歓談した際、その場で第一回の開催が決められました。開催された時に、
持ち込まれたシーサーの二つの像が、自民党本部の玄関にまだ、でんとすわっ
ています。

その後、和歌山、滋賀、北海道、秋田などが開催しました。

岩手県開催は、11月23日に二階幹事長が、盛岡で自民党岩手県連主催の政経
懇談会に出席され、「岩手もやってはどうか」と発言。開催には誰も反対しませ
でしたが、すぐやろう、という話になってあっという間に、12月8日の開催と
なりました。

日程が決まったときは、びっくりでした。開催まで日がなかったからです。
これまでの開催では、各県少なくとも一ヶ月以上の準備時間がありました。正
直言ってできるか、と思ったのも事実です。しかし、岩手県、JA、漁協、菓子
工業など、いずれもやる気満々でした。実質二週間の準備で堂々の開催とな
りました。

農協職員、菓子工業会の皆さん、県議をはじめ売り子になりました。

いい一日でした。空は、晴天でした。

【写真1】

開会式における二階幹事長の挨拶

(「ミスさんさ」が気になるようです?)



【写真2】

達増知事、藤尾JA会長らと

(あんまり見られない風景です)



【写真3】

県議（福井県議）紹介



【写真4】

リンゴ売り場にて

(私がいるとお客さんが来ないようです)



【写真5】

今村復興大臣も駆けつけ激励いただきました。



【写真6】

さんさ拝見。



【写真7】

来客された方たちと。



【写真8】

一同で。

